

第4回えひめ福祉博 2013 結果報告書

記

多くの方が御来場頂き誠にありがとうございました。9月7日(土)の来場者数708名、8日(日)は605名、合計1,313名の総来場者となりました。

幸いこの2日間は天気にも恵まれ、皆様のおかげで4回目にして今までで最高の来場者数となりました。本当にありがとうございました。県内外から約80社がエントリーしてこの2日間多くの来場者が各ブースにて熱心に説明を聞かれていました。今回はみんなで楽しく笑って学べるテーマパークと遊び心を取り入れ、また福祉以外の出展もあり、大いに盛り上がりました。

今後の少子・高齢化時代を真摯に受け止め、初めて学生さんの参加を促進しました。学生さんが高齢者の立場に立っての体験をしてもらい、お年寄りへの気遣いや思いやりを持った行動がとれることを目的としました。高校生や大学生等、若い方がおじいちゃん、おばあちゃんが困っている時に声を掛けられるよう、また歩行に困っている時にはおんぶして助けてあげられるよう、この福祉博を通じて若者に「やさしさ」を発信させたかった。

また各会場ごとに色々なゾーンを配置して来場者の方々が笑顔で楽しんでいる光景も多く見られました。福祉車両、用具、建築、食、そして施設の相談ゾーンには来場者もスムーズに流れ、うまく誘導することが出来ました。また愛媛県警の道路横断体験型シミュレータも人気があり、老若男女多くの方がチャレンジしていましたが、時折事故に遭う方もいて本当にゲームで良かったです。そして今回初めて実施の「長寿のためのセミナーコーナー」は土・日曜ともに各2回ずつ開催しましたが、事前の参加問い合わせも多く、結果的には定員30名を上回った参加で講師の方の話を真剣に聞き入っていました。今回は駐車場も広くとれたので、多くの来場者が望めましたが、日曜の午前中は駐車場が1/3位しか使用できなかったのが非常に残念でした(何台かは車がいっぱい停められずに帰ってしまった)。

来場者の内容としては、エリア別には松山市を中心に中予地区の方が多く、ただ今回は愛媛新聞に4回(8月のみ)紙面掲載したこともあり、東予や南予からの来場者も去年よりは多数来場されました。

年齢的には60才以上の方がやはり主流で次に30代と40代の方がほぼ同数、

また家族連れでの来場も増えました。中には95才のおじいちゃんの参加もありました（今年のテーマは長寿・人生100年を生きる）。

今回はもっともっと年齢の高い方の来場も望めるようにしてみたい。反対に若者では高校生だけの参加も今回多数見られ、例えば工業高校の学生さんが施設の建築をしてみたいので施設を見学したい、また福祉科の学生さんは福祉用具や施設の相談コーナーで熱心に質問をしていました。

来場動機においては福祉施設の方との相談、介護食、用具、車両、セキュリティ等がほとんどで、リフォーム、住宅改修は余りありませんでした。来場者の方の感想としてはスタッフの方々が基本的なこともていねいにわかるまで説明してもらった、皆さん親切で一生懸命でした、思った以上に楽しかった、大変勉強になりました、充分満足しました、今後もこのイベントを継続して欲しい、またそれとは反対に休憩出来るコーナーが欲しい、子どもが遊べるものやコーナーが欲しい、年に1回ではなく何回かして欲しい、車イスやベッドの付属品が少ない、靴がない、健康診断や体力測定もして欲しい、医療の相談が必要、車イスが多く迷った等の指摘もあり、今後のイベントの参考にしていきます。

総括的にはほとんどお褒めの言葉が多く、また、アンケートの最後の項目では次回も来たいという方がほとんどで、わからないという方が散見し、参加しないという方は結局0でした。率直に言ってうれしいの一言である。1年に一度の福祉のお祭りとうたっているだけに主催者、出展業者の方々もプレッシャーがあり、大変責任を感じました。このような意見を考慮させて頂いた上で、私たちは更に皆様に満足から感動を与えられるように対応していくつもりです。今回多くの来場者があり、この福祉博を運営していく中で引き続きスタッフ全員が誇りをもって責任をもって皆様と共に楽しく笑って学べる場を提供していくように努めます。みんなが助け合い、声を掛け合う昭和の時代に戻ってみたいという思いが募ります。

もう一言だけ述べさせて頂ければ福祉とはおじいちゃん、おばあちゃん、また体の不自由な方が笑顔で楽しく元気に暮らし、且つ長生きしてもらうことだと思います。そのためには福祉に携わる方々だけでは限界があります。今以上に教育や警察、交通関連等、国、行政の方々も一つになって弱者を支援していくことが今のこの国に一番必要なことではないかと思います。今まさにみんなで考えていくべき時期が来ているのではありませんか？木を見て森を見ずとな

らないようにもう一度福祉について見直しましょう。

えひめ福祉博開催までの半年間を準備期間としてまだまだ時間は足りませんでしたが、何度も打ち合わせをして御協力をして頂いた愛媛銀行さんとジャステム西広さんには深く深く感謝致します。本当にお世話になりました。そして、御協力、御支援頂きました、多くの出展業者様、また 9/7 に放映して頂いた NHK さん含め多くの報道関係者の方々、福祉博をサポートして頂いた後援者の皆様、関係者の方々にも厚く御礼を申し上げます、そして何より、お忙しい中この福祉博に来場して頂いた皆様に心から感謝致します。本当にありがとうございました。

この 2 日間来場者もスタッフもケガも事故もなく無事に福祉博を終えることが出来ました。本当に皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。

いよいよ次回においては更にステップアップしたものにチャレンジしながら今回以上に皆様の笑顔をイメージしながらハイジャンプをしたいと思っております。またまた、皆様の御協力、御支援の程、何卒宜しくお願い致します。みんなが手を取り合って一緒に頑張っていけることを願っております。

最後になりますが、皆様の今後の御健勝と御多幸を心より祈念しております。本当にありがとうございました。

以上

平成 25 年 9 月 12 日

愛媛県サービス付き高齢者向け住宅推進協議会（相中組）

会長 澤村 昭仁